

L-TSA32 防錆剤添加タービン油
製品安全データシート

第一章 製品名称

中文名：L-TSA32 防錆汽輪機油
英語名：L-TSA32 antirust turbine oil
日本語名：L-TSA32 防錆剤添加タービン油

第二章 組成及び成分情報

単一品：
混合物 鉱物油 添加剤

第三章 危険有害性の要約

危険性分類：非引火性
侵入経路：吸込、経口
健康リスク：一時的な吸込みは、脱力感・めまい・頭痛・吐き気などの症状が現れること
があり、ひどい場合はリポイド肺炎になる可能性がある。繰り返し接触する場合は、接触
性皮膚炎などになることがある。また、神経衰弱症候群・呼吸器刺激性・眼刺激性・慢性
リポイド肺炎になることがある。
環境汚染：軽度汚染
引火性：本製品は非引火性のものである。

第四章 応急措置

皮膚に付着した場合：皮膚を石けん水や中性洗剤ベースの水で洗い流す。
眼に入った場合：まぶたを持ち上げ、大量の清浄な水で洗い流す。必要に応じて医師の診
察を受ける。
吸込んだ場合：直ちに現場を離れ、新鮮な空気がある場所へ移動し、気道を確保する。呼
吸停止した場合は人工呼吸を施し、呼吸困難だった場合は酸素吸入などの補助措置を取り、
医師の診察を受ける。
飲込んだ場合：ぬるま湯をできるだけ飲ませるなどして吐かせるよう導く。必要に応じて
医師の診察を受ける。

第五章 消防措置

特有の危険性：裸火・高温により引火する
有害燃焼副産物：一酸化炭素 二酸化炭素
消火方法：消防を行う際は必ず防毒マスクをつけ、全身防火服を着用の上、風上側から消

火活動を行うこと。できるだけ容器を火災現場から広い場所へ移動する。消火完了まで水をかけ続け火災現場の容器を冷却する。火災現場にある容器が変色してしまった場合や安全装置から異音が発生した場合は直ちに現場を離れる。

消火剤：霧状の強化液、泡、粉末、炭酸ガス、土砂

第六章 漏出時の措置

緊急時措置：電源を切り、直ちに漏洩で汚染されたエリアより人を退避させ、安全な地域に移動させその場所から隔離する。危険範囲への出入りを厳重に制限する。緊急作業に当たる作業者は、陽圧式呼吸器と化学防護服の着用を薦める。下水道や排水溝など制限のある場所への流入を防ぐため、なるべく漏洩元を封じ込め、泡で覆うなどして早急に処理する。少量の場合は、漏出液をできる限り回収し密閉容器に入れ、土砂や活性炭その他の不活性物質に残りの液を吸収させて回収する。または、不燃性エマルジョンペイントで塗装する。

第七章 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：取り扱い場所は換気を十分に行い、煙草は厳禁とする。作業員は必ず研修を受け、作業規定を厳守すること。取扱いする際は自吸式フィルタ付き防毒マスク（半面形）、安全ゴーグル、作業服およびゴム手袋を着用することを推奨する。火種や熱源から遠ざけ、換気装置には防爆タイプを用いる。オイルミストは取り扱い場所空気中への漏洩をできるだけ少なくする。酸化性物質と接触しないよう注意する。詰め替えする際は、流速が5 m/sを超えないように注意する。また、静電気の蓄積を防ぐため接地装置を使用する。搬送時は包装や容器の損傷を防ぐため取り扱いを十分に注意する。必要な種類・数量の消防機材および漏洩時応急設備を常備する。空になった容器には有害物が残留していることがある。

保管：直射日光を避け、涼しく換気の良い倉庫で保管する。倉庫の気温は35℃以下にする。容器を密閉に保つこと。食品用化学品類と分けて保管し、絶対に同一場所で貯蔵しないこと。照明や換気装置は防爆タイプを用いる。火花が発生するような加工設備や工具類の使用は禁止すること。保管エリアには漏洩時緊急対応設備及び適切な回収用資材が常備すること。

第八章 曝露防止及び保護措置

呼吸器官の保護：空気中濃度が許容濃度を超えた場合は、吸収缶付き防毒マスク（半面形）の使用を推奨。緊急時の救助及び撤退する際は空気呼吸器や酸素呼吸器を使用すること。

眼の保護：安全ゴーグルを使用する。

体の保護：作業服を着用する。

手の保護：ゴム手袋を使用する。

その他の保護：作業場での喫煙、飲食を禁止する。始業前はアルコール飲料の摂取を避け、終業後はシャワーし着替える。入社前の健康診断および定期健診を行う。

第九章 物理的及び化学的性質

外観及び性質・状態：黄色で透明な液体。無臭または異臭がある。

主な用途：機械の摺動部に用いられ、潤滑、冷却及び密封の役割がある。

第十章 安定性及び反応性

安定性：安定

危険有害反応可能性：強酸化剤

避けるべき条件：裸火、高温、多湿

重合反応危険性：重合反応しない。

第十一章 有害性情報

急性毒性：なし

第十二章 環境影響情報

生態毒性：軽度な汚染

第十三章 廃棄上の注意

廃棄上の注意事項：廃棄するには国の法律及び地方条令を参照すること。

第十四章 輸送上の注意

輸送上の注意事項：輸送前には包装容器に傷や密閉性などを確認する。輸送中は容器が漏れ、倒れ、落下、損傷などがないよう確実にすること。酸化剤や食品化学品などとの混載を厳禁する。輸送に使用した車体や船体は必ずよく洗浄消毒すること。未洗浄の場合は他の液体の輸送に使用しないこと。船で輸送する際には、客室や厨房から遠ざけた場所に置きました、電源などの場所からも隔離すること。陸上輸送時は既定の道路を走ること。